

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	保育実習指導ⅠA		
担当者(Instructors)	堀 建治, 松本 亜香里	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

本授業は、前期に引き続き、実習に必要な基礎的事項や準備、保育者としての基本的な能力を養うことを目的とする。専門的知識と実践力をもって保育実習ⅠAに臨むことができるよう、保育実習の意義や目的、子どもへの理解、保育者のあり方や保育所の理解、指導計画等について理解する。なお、本授業は学部が定める保育実習履修条件に従うものとし、前期開講の「保育実習事前指導ⅠA」単位未修得者は履修できないので、注意すること。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	講義、実技、ディスカッションやグループワークを導入する。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	事前訪問に向けた手続きと準備(1)	事前訪問の目的を学び、事前準備の重要性を理解する。	<input type="checkbox"/>
第2回	事前訪問に向けた手続きと準備(2)	実習に必要な書類等を含めて、実習に向けての準備をする。	<input type="checkbox"/>
第3回	保育教材について	保育教材の発表をする。	<input type="checkbox"/>
第4回	実習事前学習(1) 子ども理解	担当年次の発達について理解する。	<input type="checkbox"/>
第5回	実習事前学習(2) 保育者の援助と意図	担当年次の保育者の援助のあり方と意図について考える。	<input type="checkbox"/>
第6回	実習事前学習(3) 保育者の子どもへの関わり	担当年次の予想される子どもの姿と実習生の援助について考える。	<input type="checkbox"/>
第7回	指導案の立案と作成	責任実習にむけて、指導計画を立案、作成する。	<input type="checkbox"/>
第8回	実習直前指導	実習前にあたっての最終確認をする。	<input type="checkbox"/>
第9回	事後指導① 実習の振り返りと自己評価	自身の実習への取り組みについて振り返りをする。	<input type="checkbox"/>
第10回	事後指導② 自己評価	所定の自己評価基準に基づき、評価をする。	<input type="checkbox"/>
第11回	事後指導③ 実習の振り返りを共有する	第9回、第10回での成果を発表し、共有する。	<input type="checkbox"/>
第12回	事後指導④ 実習報告会の準備	実習成果発表に向けての準備を行う。	<input type="checkbox"/>
第13回	事後指導⑤ 実習報告会(成果発表)	実習に関する成果を発表する(3年生と合同)。	<input type="checkbox"/>
第14回	事後指導⑥ 実習報告会(意見交換)	実習に関する意見交換を行う(3年生と合同)。	<input type="checkbox"/>
第15回	保育実習ⅠA総括	事後指導における振り返りから自己課題を明確にして、実習報告書を作成する。	<input type="checkbox"/>

## ■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

授業前は、シラバスを確認し、テキストの該当箇所を熟読しておく(2時間程度)。授業後は、配布資料をフォルダーに整理しつつ、学習内容をノートにまとめておくこと(2時間程度)。

## ■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

授業前にインターネット等で教科書の予習をし(2時間程度)、授業後に教科書、授業中に配布した資料を再度見直し、課題を作成する(2時間程度)。

■授業の到達目標と評価基準 (Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	保育所の役割や機能を具体的に理解する。保育の計画・観察・記録および自己評価などについて具体的に理解する。既習の教科目の内容を踏まえ、保育について理解する。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	観察や子どもとのかかわりを通して、子どもへの理解を深める人間力を体得している。

■成績評価 (Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			30%	70%
<b>授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)</b> 「授業内試験」：実習の成果について、小文にて確認する。「その他」：各種提出物(40)、報告会(30)等を総合的に加味して評価する。				

■テキスト (Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	幼稚園・保育所・認定こども園実習パーフェクトガイド	978-4-907270-19-3
2	実習日誌・実習指導案 パーフェクトガイド	978-4-907270-15-5
3		
4		
5		

■参考図書 (references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて授業内で配布	
2		
3		
4		
5		